



炭素固定性を有する海洋生物殻廃棄物を用いたプレキャストコンクリート部材の共同研究に 参画した学生の学会表彰について

この度、当社と共同研究を行っております工学院大学の学生が、「2024 年度第 95 回 日本建築学会関東支部研究発表会」において、優秀研究報告賞を受賞されましたのでお知らせします（参照：[日本建築学会関東支部研究発表会優秀研究報告集](#)  ）

当社と工学院大学のコラボレーションは、持続可能な社会の実現に向けてこれからも進化します。学生のフレッシュな視点と当社の技術力を掛け合わせ、イノベーションの波を広げていきますので、今後の研究進展や新たな成果にもご期待ください。

工学院大学広報 「[建築学科 上杉寧々さん、まちづくり学科 河野琢磨さんが日本建築学会関東支部研究発表会で優秀研究報告賞を受賞](#)」 

河野 琢磨さん 研究内容

コンクリートの苔・カビなど生体由来の汚れを、生物が活動するためのエネルギー源となる重要な分子である ATP (アデノシン三リン酸) によって、汚れが表面化する前に評価できないかという試みを、貝殻砂コンクリートの付加価値（防汚性）の検証と併せて実施しています。

上杉 寧々さん 研究内容

貝殻砂を使用したコンクリートを他の種類のコンクリートに打ち重ねた際に、打ち重ね界面の付着性に問題のないことを検証しています。